

# 相双地区で再開した定置網の漁獲状況

福島県水産海洋研究センター 海洋漁業部

## 1 部門名

水産業—海洋生産—定置網

## 2 担当者名

池川正人

## 3 要旨

東日本大震災以降、沿岸漁業のうち定置網漁業は操業自粛が続いていたが、2022年10月に相馬双葉地区で再開した。本漁業は従前サケを主体とした操業となっていたが、近年、近隣河川でのサケ遡上量が大きく減少していることから(図1)、震災前10年及び再開後の漁獲状況(CPUE:1隻1日当たりの漁獲量、10~11月)を整理した。

その結果、震災前と比較しサケのCPUEは激減したが、サケ以外の魚種は増加していることが示された。

(1) 2001~2010年の延べ操業隻数は162~294隻、CPUEは812~1,427kg/隻・日で推移した。CPUEのうちサケが779~1,395kg/隻・日と大半を占めた(図2)。

(2) 2022年の延べ操業隻数は7隻、CPUEは64kg/隻・日であった。CPUEのうちサケは5kg/隻・日であったが、2001~2010年と比べヒラメ、スズキが増加し、ブリと合わせ59kg/隻・日となった(図3)。

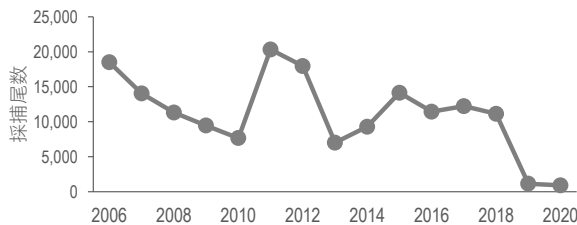


図1 真野川サケ親魚採捕尾数

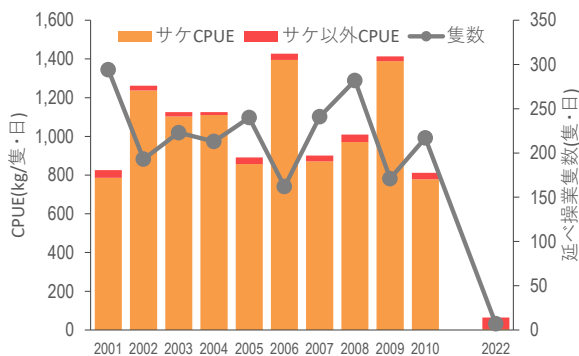


図2 定置網 CPUE、隻数年推移 (10~11月)

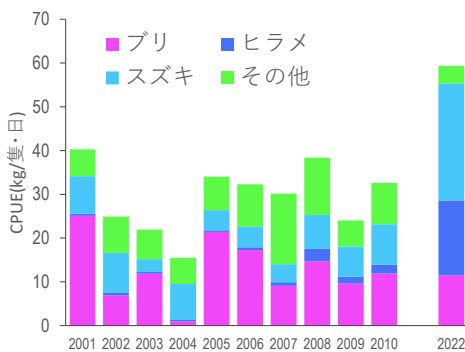


図3 サケ以外の CPUE 年推移 (10~11月)

## 4 成果を得た課題名

- (1) 研究期間 令和3~7年度
- (2) 研究課題名 沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明

## 5 主な参考文献・資料

- (1) 県内各漁業協同組合の漁獲高統計